

人生100年時代、ゆとりある生活のために必要なこと

紙上探録

【主催】朝日新聞社メディアビジネス局 東京新聞広告局
【協賛】野村證券 野村アセットマネジメント

9月9日、ホテルオークラ東京(虎ノ門)で、きたる「人生100年時代」に向けたセミナーが開かれました。テレビキャスターの草野仁さんの基調講演の後、野村證券の福田和之さん、野村アセットマネジメントの井原輝希さんによる「資産寿命の延ばし方」についての解説も行われました。



【図】三つの「分散投資」 ※イメージ図

国・地域の分散

複数の国・地域や通貨を組み合わせる

資産の分散

特性の異なる複数の資産を組み合わせる

銘柄の分散

値動きの異なる銘柄を組み合わせる

POINT 2

分散投資が効果的

野村アセットマネジメント シニアプロダクトマネージャー 井原輝希さん



井原輝希さん

資産運用の商品は、株や債券、投資信託など様々な商品がありますが、いずれも「リスク」があります。そのリスクを低減するための方法が「三つの分散」です。二つ目は「国・地域の分散」。日本の株だけでなく、複数の国・地域や通貨を組み合わせることで、さらなるリスク抑制が期待できます。二つ目は「資産の分散」。株式だけでなく、債券など特性の異なる複数の資産を組み合わせることで、リスク抑制効果が期待できます。三つ目は「銘柄の分散」。値動きの異なる銘柄を組み合わせることで、リスク抑制が期待できます。この三つの分散を1万円程度の少額から可能とし、プロに運用を任せられるのが「バランス型の投資信託」です。投資信託は複数の投資家からお金を預かり、多額のお金が集まった状態で投資を行う仕組みなので、一人ひとり少額から投資を

開始されます。投資信託には1年に1回以上決算があり、決算までの期間における収益や費用などを明らかにして収益の一部を「分配金」として投資家に支払います。なかには年1回ではなく、2カ月に1回、毎月といった頻度で分配金が支払われるタイプもあります。私たちが余暇や趣味を楽しむ資金を確保するために、一定の分配を受け取りながら、「資産寿命」も延ばしたいというニーズに応える目的で生まれた、バランス型の投資信託「野村ターゲットインカムファンド(愛称「マイ・ロングライフ」)」を提案しています。生命寿命が延びた分、お金の寿命も延びるという考えが、お金の人生100年時代といえるのです。豊かなセカンドライフの手助けとして投資信託による分散投資を視野に入れてみてはいかがでしょうか。



福田和之さん

POINT 1

「資産寿命」を延ばす第一歩

野村證券 商品企画部長 福田和之さん

人生100年時代、長い老後を安心して暮らすために、まず三つの「寿命」に着目しましょう。一つ目は命が尽きるまでの期間「生命寿命」、二つ目は日常を支援なく過せる期間「健康寿命」、そして三つ目はお金が尽きてしまうまでの期間「資産寿命」です。三つの寿命のうちある程度コントロール可能な寿命は、実は資産寿命といわれています。実際は、生命寿命、健康寿命と比べるとあまり意識されていないのが現実です。では、資産寿命はどのようにすれば延ばせるのでしょうか。方法はいくつもありますが、まずなるべく長く働

【図】資産寿命を延ばす方法 ※イメージ図

収入

もう少し働く

支出

生活費や趣味などの支出を見直す

資産運用

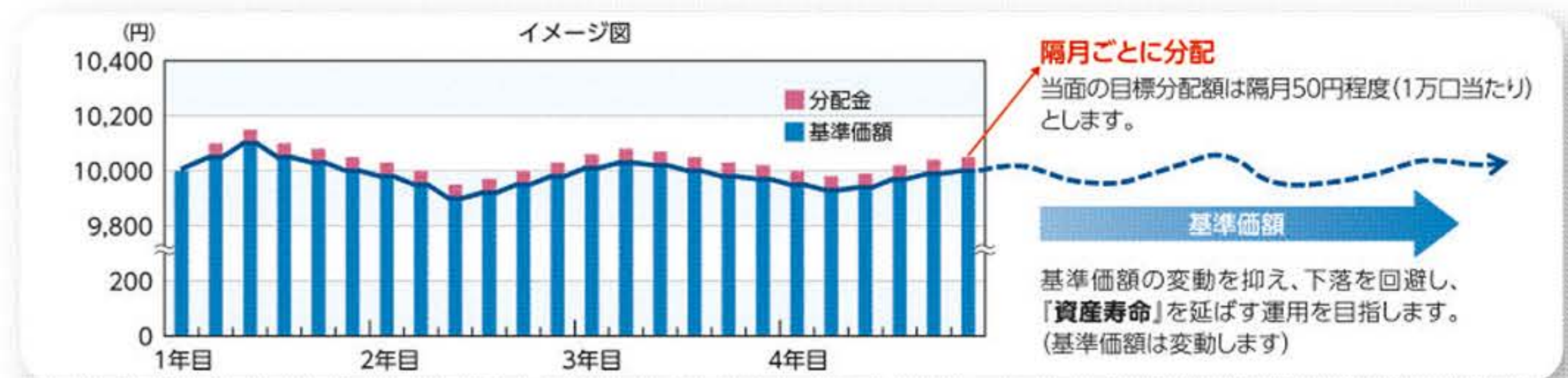
お金に働いてもらう

ます。具体的なイメージを把握するために、代表的な目的が記載されたカードを使って、優先順位を付けていただくこともあります。将来を描く第一歩を踏み出してみてはいかがでしょうか。

野村ターゲットインカムファンド「マイ・ロングライフ(愛称)」とは

安心・豊かなセカンドライフを長く続けるための運用方針

- 1** ファンドは中長期的な観点から、年率3%程度の利回り※(コスト控除後)を確保することを目指します。当ファンドにおいて、コストとは主に当ファンドの運用管理費用(信託報酬)や実質的な為替ヘッジコストを指します。
※ファンドのポートフォリオにおける利回りのことであり、毎年3%の投資収益が得られるものではありません。
- 2** 一定の分配を行いながらも「資産寿命」を延ばすことを目指します。ここでの「資産寿命」を延ばすとは、基準価額の大幅な下落を抑えることで信託財産の保全を目指した運用を行うことを通じて、投資家の資産の保全を図ることです。
- 3** 公的年金の支払われない奇数月に隔月分配を行います。奇数月(1/3/5/7/9/11月)の15日※に、分配の方針に基づき分配します。
※休業日の場合は翌営業日となります。



野村ターゲットインカムファンド 愛称「マイ・ロングライフ」について

【投資リスク】ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式、債券、バンクローンおよびREIT(不動産投資信託証券)等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落、金利変動等による当該債券およびバンクローンの価格下落、当該REITの価格下落や、当該株式の発行会社、当該債券およびバンクローンの発行体および当該REITの倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。基準価額の主な変動要因は下記のとおりです(下記に限定されるものではありません)。

◆株価変動リスク ◆債券価格変動リスク ◆REITの価格変動リスク ◆バンクローンの価格変動リスク ◆デリバティブ取引に関するリスク ◆為替変動リスク

【ファンドの費用】[購入時手数料] 購入時の基準価額に最大2.16%(税抜2.0%)の率を乗じて得た額[信託財産留保額] 換金時の基準価額に0.2%の率を乗じて得た額[運用管理費用(信託報酬)] 純資産総額に年0.999%(税抜年0.925%)の率を乗じて得た額

※上記費用の他、組入る有価証券の売買委託手数料、監査費用などの諸費用がその都度かかります。費用の合計額は、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

お申込みにあたっては、野村證券からお渡りする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

野村證券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号 加入協会/日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

人生100年パートナー

それ、野村にきいてみよう。野村證券